

科目名	コミュニティ看護実習Ⅱ(高齢者)	後期	2単位
サブタイトル		実習	
担当者	笹谷 真由美、柴田 明日香、大久保 和実		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期にある患者の加齢に伴う変化、疾病について理解し、高齢者の全体像を理解することができる。</li> <li>2. 老年期にある患者の療養の場、治療・ケアが与える影響について理解し、その場で実践される老年看護についての考え方を学ぶことができる。</li> <li>3. 高齢者と家族、高齢者をとりまく多職種の間わり、医療・介護制度について学びを深めることができる。</li> <li>4. 主体的に学び、受け持ち患者に関わる責任を自覚し、真摯に取り組むことができる。</li> </ol> <p>[授業概要]</p> <p>施設(病院、高齢者施設等)において治療を受ける老年期の患者を受け持ち、発達段階、加齢による身体機能への影響、健康障害、生活障害および心理・社会的側面を受けている影響を理解する。また、高齢者がケアを受ける中でもつ健康上の課題をアセスメントする能力を養う。また老いに直面する高齢者の意思を尊重し、高齢者の全体像を理解する。これらをもふまえた情報およびアセスメントをもとに必要な看護の方向性を明らかにする。さらに、1年次の「コミュニティ看護実習Ⅰ」で学んだことを基に、地域、介護施設に住む高齢者と比較、介護施設で実施している看護・介護ケアと医療施設での看護ケアの相違点、保険制度の違いによる医療、福祉に関わる体制、サービス等の違いについて、基本的な内容を理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>実習オリエンテーションに必ず出席すること。既習の関連科目(高齢者看護論、高齢者看護実践方法論、人体のしくみと機能Ⅰ・Ⅱ、疾病と治療Ⅰ、コミュニティケアシステム論、コミュニティヘルスケア技術演習Ⅰ・Ⅱ)を必ず復習しておくこと。高齢者の主な疾患と看護に関する事前課題に取り組むこと。</p> <p>[授業計画]</p> <p>病院において、以下のとおり1週間の実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習オリエンテーションに出席し、事前課題にて高齢者の特徴、高齢者ケアの理解を深める。</li> <li>2. 原則として、1～2名の高齢患者を受け持ち、個別性を尊重した情報収集・アセスメント等をおこない、実習記録を活用しながら、高齢者の状況をアセスメントし、全体像を捉える。</li> <li>3. 受け持ち患者と援助的関係を築く</li> <li>4. 日常生活援助を見学・実施するにあたり患者に説明し同意を得て、指導のもとで実施する</li> <li>5. 実習に必要な事前課題および実習内容は一定の様式の実習記録に記載する</li> <li>6. 日々のカンファレンスにおいて、情報や学びを共有し、学習上の問題解決を図る</li> <li>7. 最終カンファレンスにおいて、実習で得た具体的な学びと健康障害を持つ高齢者および高齢者へのケアの特徴について考察する</li> </ol> <p>介護老人保健施設において、以下のとおり1週間の実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習オリエンテーションに出席し、介護老人保健施設の位置付けと、期待される機能・役割について理解を深める。</li> <li>2. 原則として、1～2名の利用者を受け持ち、個別性を尊重した情報収集・アセスメント等をおこない、実習記録を活用しながら、高齢者の状況をアセスメントし、全体像を捉える。</li> <li>3. 受け持ち利用者と援助的関係を築く</li> <li>4. 日常生活援助を見学・実施するにあたり患者に説明し同意を得て、指導のもとで実施する</li> <li>5. 実習に必要な事前課題および実習内容は一定の様式の実習記録に記載する</li> <li>6. アクティビティケアを見学し、高齢者の社会参加の意義を考える</li> <li>7. 日々のカンファレンスにおいて、情報や学びを共有し、学習上の問題解決を図る</li> <li>8. 最終カンファレンスにおいて、実習で得た具体的な学びと施設に入所している高齢者および高齢者へのケアの特徴について考察する</li> </ol>			

科目名	コミュニティ看護実習Ⅱ(高齢者)	後期	2単位
サブタイトル		実習	
担当者	笹谷 真由美、柴田 明日香、大久保 和実		
<p>[ 成績評価方法 ]</p> <p>1.事前課題・レポート課題(30%) 2.実習内容(高齢者の理解、アセスメント、実習記録、コミュニケーション、カンファレンス、積極性、体調管理、連絡、報告、課題提出期限の厳守など)(70%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]</p> <p>事前課題、実習記録に対するフィードバックは、実習開始後に個別に行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-1/(プロフェッショナルリズム)生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的な人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:レポート課題、実習記録</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-2/(科学的根拠に基づいた課題対応能力)人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:事前課題、実習記録</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-3/(人が病むことへの関心と理解)生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:レポート課題、実習記録</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-1/(人間性の涵養)多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:レポート課題、事前課題、実習記録</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-2/(看護の表現力)自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:実習記録</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-3/(倫理の実践と道徳的態度)看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:レポート課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-1/(社会参加)社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していく。 成績評価方法:実習記録</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-2/(協働・協力)保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していく。 成績評価方法:実習記録</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:実習記録</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題、実習記録</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題、実習記録</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題、事前課題、実習記録</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート課題、実習記録</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート課題、実習記録</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート課題、事前課題、実習記録</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]</p> <p>ナーシング・グラフィカ―老年看護学(1) 高齢者の健康と障害 著者名:堀内 ふき,諏訪 さゆり, 山本 恵子 他 出版社:株式会社メディカ出版 (978-4-8404-7208-1) ナーシング・グラフィカ―老年看護学(2) 高齢者看護の実践 著者名:堀内 ふき, 大淵 律子, 諏訪 さゆり 他 出版社:株式会社メディカ出版 (978-4-8404-7841-0)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]</p> <p>パーフェクト臨床実習ガイド 老年看護&lt;第2版&gt; 著者名:正木治恵 出版社:照林社 (978-4-7965-2409-4) 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 著者名:秋葉公子, 江崎フサ子, 玉木ミヨ子, 村中陽子 出版社:ヌーヴェルヒロカワ (978-4-86174-056-5)</p>			